

2025
秋号



いでちゃんねる

松戸市議会議員 公明党 井出 まなこ

2025
市議会 10 月定例会より

今回の議会では、開会が目前に迫ったデフリンピックの他、市民の皆さまからお寄せいただいた声をもとに質問にたちました。9月の議会では、「教育環境常任委員会」の他、「令和6年度決算審議特別委員会」に、会派代表の一人として審議いたしました。予算の使われ方について、次の予算への改善等を含めて精査が出来たと思います。



0 歳から 2 歳児の保育料支援について

共働き世帯の保護者から「保育料が給与と同額」との切実な声が寄せられており、育児と仕事の両立に苦慮する現状が浮き彫りになっています。育児休暇を取得しにくい企業側の課題もある中、第一子からの保育料支援は、若い世代が安心して子育てできる環境づくりに不可欠です。

東京都では 2025 年 9 月より、0 歳から 2 歳児までの第一子の保育料を無償化する施策を開始し、千葉県勝浦市は令和 7 年度から 0 歳から 2 歳児の保育料が無料です。こうした動きに対し、松戸市としても子育て世帯の支援拡

充が急務であると考え、第一子からの保育料支援の必要性を訴えました。

市からは、第三子以降の保育料無償化の拡充や、近隣市（流山市、鎌ヶ谷市、市川市など）の支援状況が示され、今後の制度のあり方について検討を進めるとの答弁がありました。子育て支援の充実は、若い世代の定住促進や少子化対策に直結する重要な施策であり、「子育てするなら松戸市で」と選ばれる街づくりの柱の一つとなります。

今後とも、保育従事者の人材確保を進めつつ、段階的に 0 歳から 2 歳児の保育料無償化を目指し、国や県への働きかけを継続するとともに、本市独自の柔軟な支援制度の構築を求めてまいります。

乳幼児予防接種における 予診票の簡素化について



乳幼児の予防接種は、生後 2 ヶ月から半年間で 15 回程度に及ぶこともあり、保護者が複数の予診票に同様の内容を繰り返し記入する負担が大きいとの声を受け、市に簡素化の考えを質問いたしました。

市からは、予診票は接種医師に必要な情報を提供するものであり、予防接種法によりワクチンごとに記載が義務付

けられていること、また質問項目もワクチンごとに異なるため、現状では簡素化が困難であるとの答弁がありました。

一方、国においてはマイナンバー制度を活用した予診票の電子化が検討されており、令和 8 年 6 月の法改正後、令和 10 年 4 月以降に各自治体が対応する予定です。松戸市としても、国の動向を注視しつつ、健康管理システムの標準化を進めていくとのことです。

保護者の負担軽減と接種率向上のため、予診票の様式統一や記入項目の共通化など、国の制度改正を待つだけでなく、市独自の工夫と改善をすることができないか、調査を続けてまいります。

学年担任制等について

中学生の繊細な心身の成長期において、複数担任による情報共有の在り方に関する保護者の声を受け、「学年担任制等」の効果と課題について質問いたしました。松戸市では、学年担任制を導入している小・中学校において、週や月単位で担任を交代する「期間担任」や、成績処理・進路

指導を担う「学級事務担当教員の固定」などの工夫がなされており、学年教職員が生徒の日常生活に積極的に関わることで、丁寧な指導につながっています。生徒の声としては高評価を得ており、修学旅行などの行事運営にも好影響があるとのことです。



裏面へつづく

一方、「相談先が分かりにくい」「担任変更への不安」などの課題も認識されており、教職員間の情報共有の徹底が重要と認識されています。

私は、今後の展開において教員確保が大きな課題であること、また、教職員間の適切な情報共有が極めて重要であると思います。担任が一人の目で生徒を見るのではなく、

複数の視点で支える仕組みは、子どもの人生観にも影響を与える有意義な施策です。市単独での限界も踏まえ、国・県への働きかけを継続してまいります。「誰一人取り残さない教育」の理念のもと、令和型公教育の再生を目指し、すべての子どもに安心して学べる環境づくりを推進してまいります。

松戸市の魅力を 配信することについて

市民の方々との懇談会で「松戸市の魅力をもっと発信してほしい」との声を受け、動画や SNS を活用した広報の現状と今後の展望について質問しました。市では既にドローン撮影を用いた動画など多様な取組を進めており、庁内研修も実施されています。

松戸市は今後、職員の皆さま一人ひとりが力を発揮できる情報発信体制を整え、市内外に「松戸に住みたい」と思っ

ていただけるよう、動画コンテンツの充実に取り組むとのことでした。

一方、SNS のアルゴリズム理解や企画力・編集力の強化が今後の課題であると思います。

単発研修に加え、専門家による伴走型支援の導入を提案し、各部局が市民の関心の高いテーマで動画を制作・発信する体制の充実に要望しました。また、庁内横断的な「推し活広報会議」の設置により、統一感ある魅力発信を進め、「松戸市いいね」と言っていただけのファンづくりを目指します。

東京 2025 デフリンピックを みんなで応援しよう

松戸市では、東京 2025 デフリンピックに向けた周知活動が進み、市公式 HP の特設ページや全小中学校へのチラシの配置、市長による手話言語の応援動画配信など、市民や近隣自治体から多くの反響がありました。

10 月 20 日にはテラスモール松戸にて、デフバレーボール監督・村井氏、デフ自転車選手・早瀬氏によるトークショーや手話ダンスなどのイベントが開催されます。

私は、8 月に流山市で開催されたデフキッズサッカー教室を見学しました。「音のないサッカー」といわれる競技の中で、手話やアイコンタクトを駆使する選手たちの姿に感動し、子どもたちが笑顔で交流する様子から「スポーツの力」と「共生社会の可能性」を強く感じました。

今後も松戸市から共生の輪を広げてまいります。



「松戸市議会議会中継」の動画アーカイブ

こちらから「井出まさこ」の議会質問を視聴いただけます。



みなさまの力がカタチになりました！



みなさまの声をお寄せください

☎ 070-6520-0764

✉ m.ide.matsudo@gmail.com

公式 HP リニューアルオープン！



SNS 情報・ブログ・実績など
見やすくリニューアルしました！

井出 まさこ

＼SNS で情報発信中／

お使いの SNS で最新情報チェック！

